

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

| | | | |
|-----|------------|------|------------------|
| 公表日 | 2024年3月31日 | 事業所名 | ひばりキッズジュニア嘉麻ひまわり |
|-----|------------|------|------------------|

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------------------|----|---|-----------------------|---------------|-----------------------|---|------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | <input type="radio"/> | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | <input type="radio"/> | | | 児童指導員を加配しています | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | <input type="radio"/> | | | 出入口段差無し スロープあり 身障者用トイレあり | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | <input type="radio"/> | | | 業務改善の取り組みとして年1回報告大会を行い、広く職員が参加するようにしています | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | <input type="radio"/> | | | アンケートで明らかになった課題について話し合い、改善策を検討しています | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | <input type="radio"/> | | | ホームページでの公表は義務付けられており、年1回行っています | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | | <input type="radio"/> | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | <input type="radio"/> | | | 事例研究発表会 年一回発表の他 新任研修 現任研修等 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | <input type="radio"/> | | | 6か月ごとに本人の意見や保護者のニーズを聞き取り、クラスでの評価結果を参考に支援計画を立てています | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | <input type="radio"/> | | | S-M社会生活能力検査を道いています | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | <input type="radio"/> | | | クラス職員での話し合いを行っている。クラス会議にて月案 週案を作成しています | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | <input type="radio"/> | | | 色々な意見を出し、又 情報を共有している。児童会議で児童の意見も取り入れています | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | <input type="radio"/> | | | 休日や長期休暇には児童個人個人の課題を明確にし、グループ分けや個別プログラムを用意しています | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | <input type="radio"/> | | | 特性や年齢に合わせて、個別活動と集団活動をくみあわせています | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | <input type="radio"/> | | | 朝礼、昼礼等時間差出勤者への申し送りをし、申し送りノートも活用しています | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | <input type="radio"/> | | | 送迎で全員揃うのは難しいですが、朝礼 昼礼 申し送りノートで情報漏れがないように工夫しています | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | <input type="radio"/> | | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | <input type="radio"/> | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | <input type="radio"/> | | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | <input type="radio"/> | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | <input type="radio"/> | | | | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 | |
|--------------|--------|--|---------------|-----|---------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 現在医療ケアが必要な児童はいませんが、看護師を配置しており、必要場合は主治医と連携を取りケアを提供するタイミングがあります | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | 相談支援専門員など関係機関と連携し情報提供しています | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | ○ | | 利用している場合は情報提供や助言を受けるようにしています。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | ○ | 個人情報保護やリスク管理の観点から希望されない保護者もおられます | 地域ボランティアへの参加など個人情報等の課題が少ない状況での交流を企画しています |
| | 27 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | 地域での活動自体がありません | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 連絡帳や送迎時にこまめに行うようにしているほか、電話やメールでの連絡も行っています | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | | | ペアレントトレーニングを実施する資格を持つ職員がおらず、研修に基づいた相談や助言を行っています | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | ご相談には丁寧に対応し、必要に応じてグループ内の専門職員の意見を確認して助言を行っています | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | | ○ | 父母の会はありません。保護者同士の連携を促すような働きかけはしておらず、行事への参列などから関係づくりができるよう工夫しています | 行事への参列後に、気軽に集まりお話しできるような場を設けることを考えています |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 苦情、相談窓口は重要事項説明書や事業所内掲示をしています。ご連絡があれば迅速に対応しております | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 毎月のクラスだよりを発行しております | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 意思決定支援の取り組みを毎年行い、様々な方法をグループ内で共有しています | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | | コロナ感染後 グループ内行事にやっとな保護者を招待している現状。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | マニュアルを作成し職員への周知がされている。 | 保護者へも理解いただけるよう、委員会活動なども広報し理解していただけるようにしたいと思います |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 年2回、火災と自然災害を想定した訓練を行っています | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 虐待防止委員会を組織し、年2回の研修や意思決定支援への取り組みを行っています | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | 児童の安全のため一時的に身体拘束が必要な場合は、身体拘束の指針に基づき関係機関での共有と保護者の同意に基づいた個別支援計画を立てます | 現在、拘束を必要とする児童はいません。身体拘束は虐待であるとの認識を職員と常に共有できるよう研修を行います |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | | 保護者からの情報提供と要望に基づいて対応しています。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | | |